

教員公募要項

香川大学創造工学部

1. 主担当コース名	2. 専門分野・職務内容	3. 募集人員
機械システムコース	機械工学（生体工学，医用応用工学）における教育・研究	准教授，講師（任期なし） または助教（任期5年，再任可，再任後は任期を定めない） 1名

4. 応募資格：機械工学を基盤とする博士又はPh. D. の学位を有し，機械工学分野において職種にふさわしい研究業績を有すること。機械システムコースの専門科目，特に機械工学系の専門授業科目（機械設計，生体工学，医用応用工学，設計工学等の講義科目や関連する実験実習）及び全学共通科目や学部共通科目を担当可能であること。大学院担当の場合は機械システムへの応用を前提とした機械工学系の講義と学生の研究指導ができる方。特に教育研究については，機械工学分野の研究課題を積極的に推進する意欲を持ち，グローバル教育にも熱意を持って取り組むことができること。なお，創造工学部は，既存学部である工学部を基盤に設置するものであり，工学部の教育課程が廃止されるまでの間，同学部知能機械システム工学科における専門科目，特に機械設計に関わる分野の授業科目を並行して担当できること。
5. 採用予定年月日：令和5年1月1日（日）以降のできるだけ早い着任可能日
6. 提出書類：①履歴書，②研究業績リスト，③主要論文の別刷（コピー可）及びその概要，④教育・研究・社会貢献活動報告書，⑤本学部における教育研究の抱負等，⑥応募者について問合せ可能な方のリスト（提出書類の記入要領は別紙のとおり），⑦上記のデータを保存した電子媒体
※「研究業績リスト」は別紙3，「教育・研究・社会貢献活動報告書」は別紙4を参照して記載してください。
7. 応募期限：令和4年7月25日（月）（必着）
8. 送付先：〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学創造工学部長 末永 慶寛
（「創造工学部 機械工学の生体工学分野における教育・研究 教員応募書類在中」と朱書の上，書留にて送付ください。）
9. 問合せ先：高松市林町2217番地20
香川大学林町地区統合事務センター総務課庶務係
TEL：087-864-2008
FAX：087-864-2032
E-mail：shomu-t@kagawa-u.ac.jp
又は機械システム工学領域 領域長 鈴木 桂輔
TEL 087-864-2323，E-mail suzuki.keisuke@kagawa-u.ac.jp
10. ホームページ：香川大学創造工学部 https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_lead/
香川大学工学部 https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/
11. 選考方法：第1次選考・・・書類審査
第2次選考・・・面接及び模擬授業（第1次選考合格者対象）
9月16日（金）に実施予定。詳細は，第1次選考合格者に連絡します。
※第2次選考のための旅費は，自己負担となります。
12. その他：香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており，選考にあたって業績（教育業績，研究業績）及び人物の評価等において同等と認められる場合は，本学部のジェンダーバランスに配慮して採用します。本学における新規教員の給与は年俸制を適用します。大学教員経験が3年未満の場合は，採用後に本学「新任教員研修プログラム（2年間で40時間以上）」の受講対象者となります。

教員応募提出書類作成要領

- ① 履歴書
市販のもの、自作のものいずれでも結構です。必ず写真を貼付し、押印してください。
住所、氏名、生年月日、連絡先、学歴（高等学校卒業以降の全て、入学卒業年月を記載すること）
職歴（非常勤講師を含む）等の他に所属学会もご記入ください。
- ② 研究業績リスト
著書、学術論文、国際会議プロシーディングス、登録特許、作品など、研究業績について、別紙3の様式に準じて作成してください。
- ③ 主要論文の別刷及びその概要
研究業績リストに記載の主要な論文（5編以内）について、その内容をそれぞれ400字以内で簡潔に説明し、併せてその別刷を添付してください。
- ④ 教育・研究・社会貢献活動報告書
教育活動、研究活動、社会貢献活動について、別紙4の様式に準じて記載してください。
- ⑤ 本学部における教育研究の抱負等（A4判用紙2枚以内）
香川大学創造工学部における教育研究の抱負、応募する専門分野及び職種等についての抱負を記述してください。
- ⑥ 応募者について問合せ可能な方のリスト
応募する職位に応じて、下記の人数を挙げてください。
教授・准教授・講師に応募する場合は、国内外を問わず著名な研究者等から、3人以上、助教については2人以上とします。
なお、「著名」の判断は応募者に委ねますが、簡潔な説明文を添付してください。

研究業績リスト

- ・ I. 著書, II. 学術論文 (査読付き), III. 国際会議プロシーディングス (査読付き), IV. 登録特許, V. 作品, VI. 学術論文 (査読なし), VII. 学会発表 (査読なし), VIII. その他 (報告書等) に分けて, 項目別に通し番号をつけて記載してください。該当する業績がない項目は記載しないでください。
- ・ 著者名, 執筆者名の欄は, 応募者本人の氏名に下線を付してください。
- ・ 頁下段中央に頁数を付してください。

氏名 ○○○○

I. 著書

1. 著者名 : ○○○○ (単著)
著書名 : ○○○○, 全300頁
出版社名 : ○○出版, ×××年
2. 著者名 : ○○○○ (分担執筆, 共著者 (又は監修, 編集者) : △△△△)
著書名 : ○○○○, 全350頁 (担当箇所 : 第○章, 50~100頁)
出版社名 : ○○出版, ×××年

II. 学術論文 (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○
掲載誌名 : ○○学会論文集, 巻(号), pp.100-108, ×××年
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

III. 国際会議プロシーディングス (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○
掲載誌名 : Proceedings of ○○○○, pp.100-108, 2012
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

IV. 特許登録 (登録された特許についてのみ記載してください。)

1. 発明者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
発明の名称 : ○○○○
特許番号 : 特許第×××号, (登録年月日 : ×××年××月××日)

V. 作品 (建築作品, 知的財産として登録済みの意匠, 特許 (公開特許を含む) が採用された商品, テレビ・ラジオなどにより放送された作品, 劇場などで一般公開された作品 (音楽作品や映像作品等), 公募展の入選作品, 企画展の招聘作品, 展覧会の企画・キュレーション, 企画執行に係わった商品) ※商品には外部機関から評価されたソフトウェア・サービス等を含む。(作品の概要と関わりが具体的に分かる内容を記載してください。エビデンス (第三者機関やメディア (テレビ・新聞・雑誌・WEB等) により公開された資料) があれば記載し, 添付してください。)

1. 製作者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
作品の名称 : ○○○○, ×××年, 発表場所
概要 :
関わり :
エビデンス :

VI. 学術論文 (査読なし) (上記のIIと同じ体裁で記載してください。)

VII. 学会発表 (査読なし) (上記のIIIと同じ体裁で記載してください。)

VIII. その他 (報告書等を適宜記載してください。)

教育・研究・社会貢献活動報告書

I. 教育活動, II. 研究活動, III. 社会貢献活動, IV. 自己評価・自己アピールについて, それぞれ以下のような事項について記載してください。

I. 教育活動

- ・主な教育活動歴（大学における授業担当, 学協会等における講習会の講師等も含む。）
- ・受賞歴（教育活動に関する受賞歴）
- ・教科書の執筆, 教材の開発等
- ・その他教育活動に関する業績

II. 研究活動

- ・受賞歴（研究活動に関する受賞歴, 全受賞者氏名, 表彰名称, 表彰業績名, 表彰主催団体名及び表彰年月日を明記してください。）
- ・学会, シンポジウム等における招待講演（本人の講演に限ります。）
- ・科学研究費補助金, 財団の助成金などこれまでに獲得した競争的研究資金（研究費の種類, 研究テーマ, 研究費を受けた期間及び研究費の金額を記載してください。）

III. 社会貢献活動

- ・学会, シンポジウム, 研究会などの組織・運営や役職など
- ・国及び地方公共団体等の審議会, 委員会等の委員（委員名称, 期間）
- ・学協会, 市民団体等への貢献活動

IV. 自己評価・自己アピール

これまでのご自身の教育・研究・社会貢献活動に関する自己評価・自己アピールを自由に記載してください。